

令和4年度 保育士等の働きやすい職場づくり事業 実施報告書【催事】

目次

1. 保育者のためのスキルアップセミナーの開催	1
2. 潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催	14
3. 事業総括と次年度に向けた計画（案）	23

株式会社サンロフト

令和5年3月31日

1-1.保育者のためのスキルアップセミナーの開催

1) 保育者向けスキルアップセミナーの概要

若手・中堅・管理職の対象別に、参加者同士が情報交換をしながら、職場づくりに関する視野を広げ、多様な解決策を知る場として、3日間のセミナーをオンラインで企画・運営した。テーマは、保育者のキャリアイメージの描き方や後輩の育成方法、ハラスメントや不適切保育の防止策などで、講師のナビゲートのもと、藤枝市内で働く保育者が抱える悩みや園の課題をシェアし、保育者が働きやすい職場を実現するための道筋を対象別に学ぶ構成とした。

開催日	【若手職員】 2023年2月20日（月） 【中堅職員】 2023年2月21日（火） 【管理職】 2023年2月22日（水） 時間はいずれも13:30～15:30（受付 13:00～）
開催場所	オンライン（Zoomミーティング） ※ホスト会場は、サンロフト
主催	藤枝市健康福祉部子ども未来応援局児童課
対象	藤枝市内の幼稚園・保育園・こども園等で働いている保育者の皆さま、管理職の皆さま
定員	なし
参加費	無料
テーマ	みんなでつくろう！働き続けられる保育職場
講師	黒澤 祐介 先生 大阪青山大学 健康科学部子ども教育学科 准教授 大阪保育研究所 保育士の働きやすさ研究会 代表。 専門は社会福祉学、保育学。保育カンファレンスや 保育者の同僚性の形成を研究している。 
集客	チラシを制作し、市内の園に配付するとともに、メールでも案内した。
プログラム	13:30～ 開会・主催者挨拶・趣旨説明 13:35～ 黒澤先生の講義・グループディスカッション 14:35～ 休憩 14:40～ 全体シェア 黒澤先生の総評 15:25～ アンケート・連絡事項 ※状況に応じて調整しながら進めた。

1-2. 保育者のためのスキルアップセミナーの開催

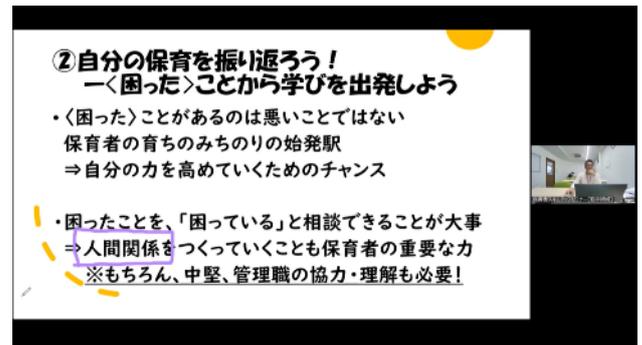
セミナーのテーマとしては「ハラスメントや不適切保育などの問題について、他園の仲間たちと共に、明るく前向きに考えてみませんか？」を掲げ、若手、中堅、管理職が身近な仲間同士で語り合い、それぞれの立場で予防策や対処法を考える場を目指した。

◆ 若手職員向け

タイトル：「保育で〈困った〉時の対処方法」

講座概要：

若手保育者に多い悩みと、ステップアップしていくためのポイントを解説。保育者を志したきっかけや普段の子どもとの関わりでうれしかったこと、悩んだことなどを参加者同士でシェアしながら、保育者として働き続ける上で大切なことを共有した。

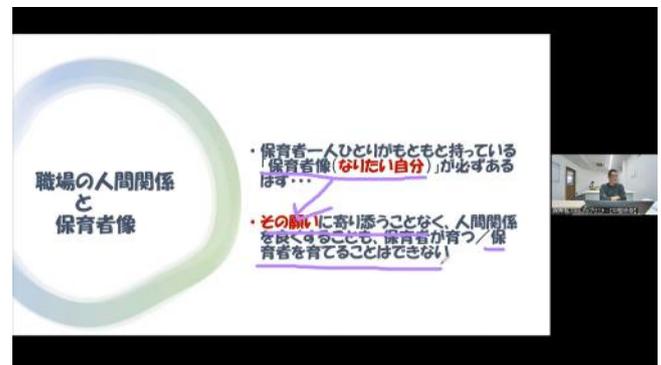


◆ 中堅職員向け

タイトル：「仕事と家庭の両立と〈ストレス〉のコントロール方法」

講座概要：

育児や介護を家庭で担いながら、職場でもリーダーシップを求められる中堅保育者。保育カンファレンスを例に、働き続ける上で重要となる「同僚性」のあり方を解説し、後輩の育成や仕事と家庭の両立における課題や自園の工夫について意見交換をした。

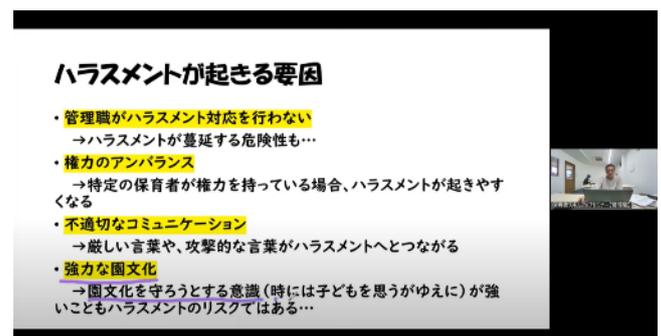


◆ 管理職者向け

タイトル：「不適切保育やハラスメント〈防止〉のための保育園の取り組み」

講座概要：

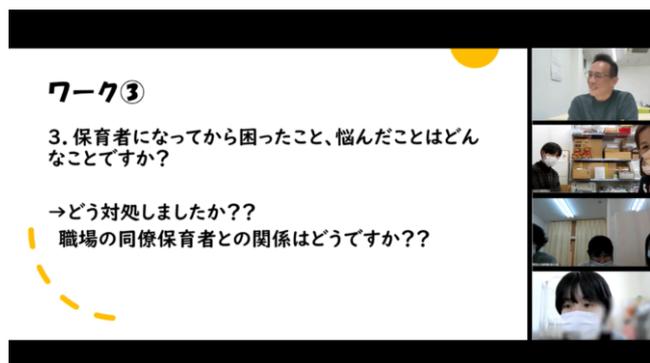
保育者不足や配置基準がもたらす問題と働き続けられる職場の条件を解説。園共通の課題である人材確保・育成に向け、行政や他園が連携し、休暇保障のための配置基準の見直しや、地域全体での人材確保のしくみ構築に取り組むべきと提言した。



1-4.保育者のためのスキルアップセミナーの開催

3) 当日の様子

主催者挨拶から始まり、黒澤先生による講義と参加者同士のディスカッションが行われた。進行は、(株)サンロフトの青木が担当した。3日間とも参加者全員が発言する機会を設け、主体的にセミナーに参加していただいた。中堅向けの冒頭では若手セミナーの振り返りを、また、管理者向けセミナーの冒頭では、それまでのセミナーの振り返りを共有し、若手・中堅・管理職別に行ったセミナー全体での情報共有も図った。



1-5. 保育者のためのスキルアップセミナーの開催

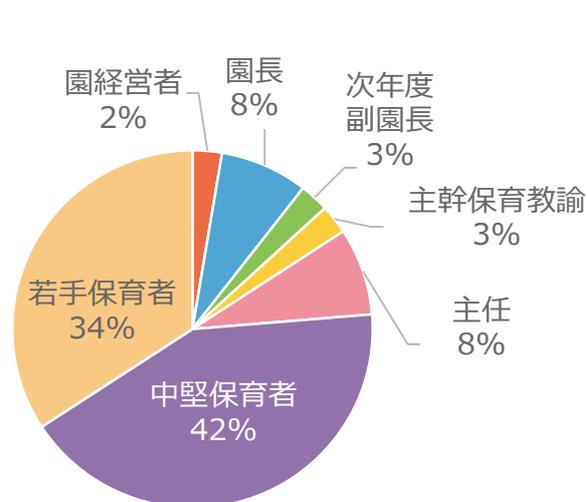
4) お申し込み・参加状況

3日間のお申し込みは59名であった。当日参加1名、キャンセル4名で、合計56名が参加した。

申込数	3日間合計：59名 【若手】2023年1月28日（金）：19名 【中堅】2023年2月2日（水）：19名 【管理職】2023年2月3日（木）：21名
当日参加者数	3日間合計：56名 【若手】18名（キャンセル：1名 当日参加：0名） 【中堅】19名（キャンセル：1名 当日参加：1名） 【管理職】19名（キャンセル：2名 当日参加：0名）
アンケート回収	Googleフォームにて実施 38名/56名（回収率 68%）

5) アンケート集計結果

1. あてはまる属性をお選びください。（属性）

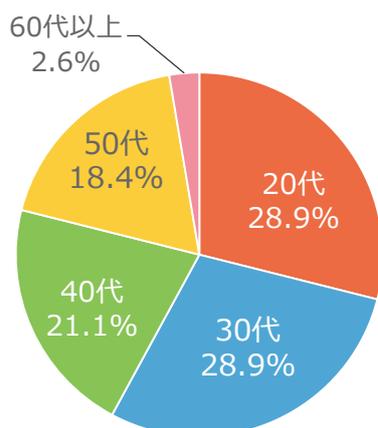


(n=38)

項目	人数 (人)	割合 (%)
園経営者	1	2.6%
園長	3	7.9%
次年度副園長	1	2.6%
主幹保育教諭	1	2.6%
主任	3	7.9%
中堅保育者	16	42.1%
若手保育者	13	34.2%
合計	38	100.0%

※ 以下の自由記述回答を、下記の項目へ分類している。
中堅以上（1名）⇒ 中堅保育者

2. あてはまる属性をお選びください。（年代）

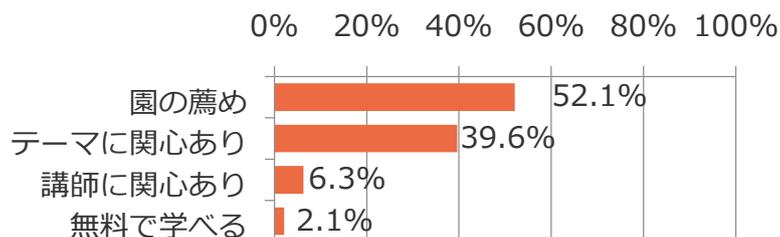


(n=38)

項目	人数 (人)	割合 (%)
20代	11	28.9%
30代	11	28.9%
40代	8	21.1%
50代	7	18.4%
60代以上	1	2.6%
合計	38	100.0%

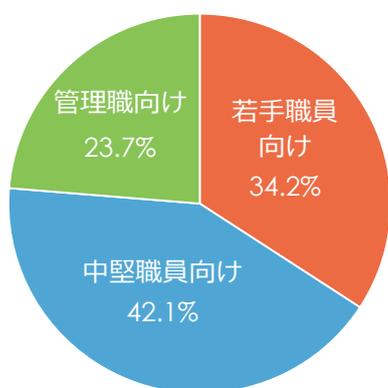
1-5.保育者のためのスキルアップセミナーの開催

3.本セミナーの参加動機として該当するものはどれですか？（複数回答可）



項目	実数 (人)	構成比 (%)
園の薦め	25	52.1%
テーマに関心あり	19	39.6%
講師に関心あり	3	6.3%
無料で学べる	1	2.1%

4.参加したセミナーをお選びください。

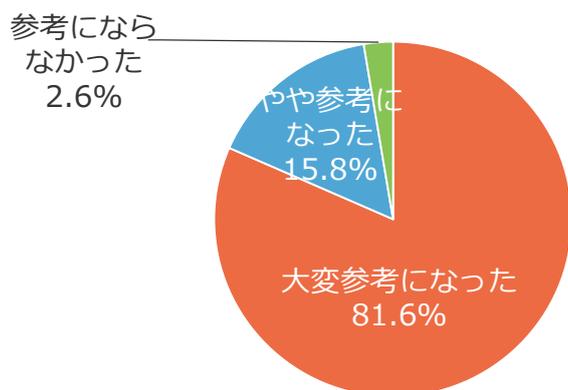


(n=38)

項目	人数 (人)	割合 (%)
2/20 (月) 若手職員向け	13	34.2%
2/21 (火) 中堅職員向け	16	42.1%
2/22 (水) 管理職向け	9	23.7%
合計	38	100%

5.本セミナーはいかがでしたか？

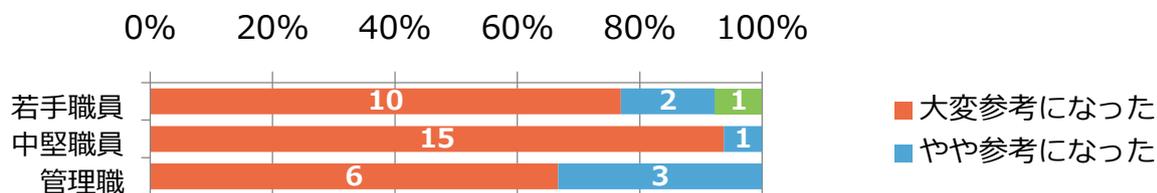
「大変参考になった」が81.6%、「やや参考になった」が15.8%、全体の9割以上の参加者がセミナーを有意義と感じた。「参考にならなかった」と回答した1名は、「参加したことで前向きになった」「受講できてよかった」など回答していることから選択ミスの可能性が高い。



(n=38)

項目	人数 (人)	割合 (%)
大変参考になった	31	81.6%
やや参考になった	6	15.8%
あまり参考にならなかった	1	2.6%
参考にならなかった	0	0%
合計	38	100%

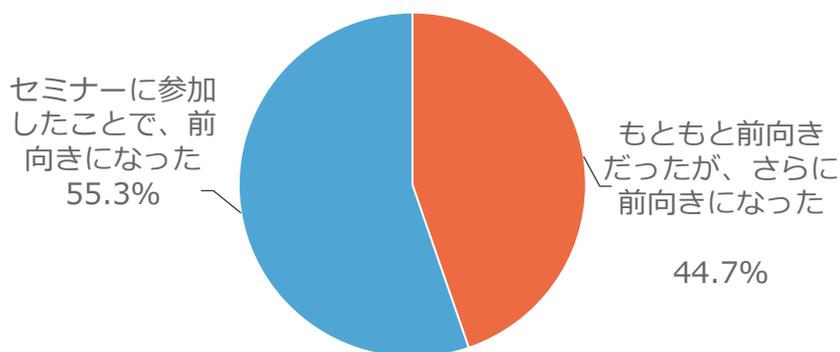
◆ 対象別 セミナーに対する満足度



1-6. 保育者のためのスキルアップセミナーの開催

6. セミナーへの参加を通して、職場の環境改善や働き方の改革に前向きになりましたか？

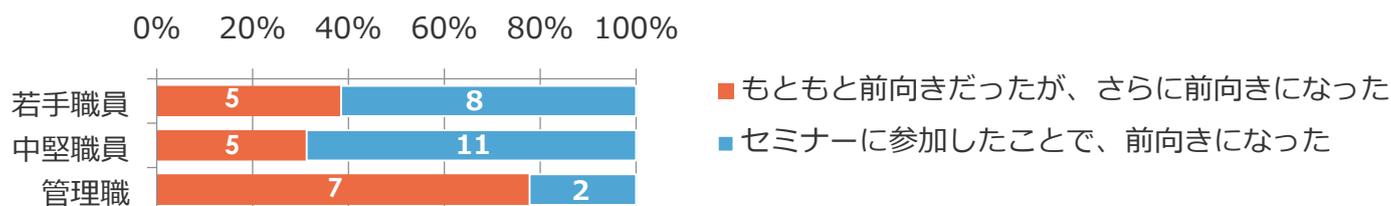
「もともと前向きだったが、さらに前向きになった」が44.7%、「セミナーに参加したことで、前向きになった」が55.3%で、受講者全員がセミナー参加後、職場の環境改善や働き方改革に「前向きになった」と回答していた。



(n=38)

項目	人数 (人)	割合 (%)
もともと前向きだったが、さらに前向きになった	17	44.7%
セミナーに参加したことで、前向きになった	21	55.3%
合計	38	100.0%

◆ 対象別 セミナー参加を通じた気持ちの変化



7. 黒澤先生の講義において、心に残ったことは何ですか？

◆ 若手保育者

※ 一部抜粋

- 「保育に正解はない」という言葉。悩んでいた内容だった為。自分の保育の仕方を他の職員に同じようにしてほしいと求めてしまう気持ちが時々あったが、目指すところが同じかどうか重点を置いてみようと思えた。それだけでだいぶ気持ちも楽になる気がした。
- 子どもと関わり保育を振り返ることが大切と感じた。
- 失敗を恐れず、経験を大事にしていきたい。
- 相手のいいところを見つけようという言葉が心に残りました。これからも続けていいところを探していきたいと思います。
- 自分の課題を他人と共有して考える、他人の課題を自分の課題として考えるという言葉が心に残りました。自分のことだけでなく、相手が考えていることを自分事として捉えて、考えていくことで成長していけると思いました。
- 子どもとの関りが日常になっているなかで、魂が揺さぶられる体験を大切にしよう！という言葉に、もう一度原点に振り返る良い機会になったと同時に、もっともっと日常を大事にしていきたいと思いました。

1-7.保育者のためのスキルアップセミナーの開催

- ベテランも若手も、課題を自分のことと捉えて考えることが大切。
- 若手保育者は困ったことがあったときに失敗をしないように正解をすぐに求めがちであるけれども、保育には完璧な正解はなく他の保育者とともに1つの課題として取り組むことが大切であるということが心に残りました。そのためにも若手側からも「私」を理解してもらうために自分からも考えを発信していくことを今後大事にしていきたいと感じました。
- 困ったことは学びの出発というお話が印象に残っています。これまで日々の保育の中で、どうしようと思ったり、上手くいかなかったと感じたりして落ち込むことが沢山ありました。今回のお話を聞いて、感じたことも経験で、今後どう活かしていくかと前向きに考えられるようにしていきたいと思いました。ありがとうございました。
- 『保育士と子どもの関係性は、他の誰かに変わるものではないという特異性を持っている』という部分が特に印象に残りました。普段多くの子どもを全体で見ていると、一対大勢と捉えてしまうこともあるのですが、子どもにとってクラス担任である大人は自分1人だし、実際の関わりの中では子ども1人と自分1人の関わりがとても重要なものだと思います。様々な保育観、関わり方があり正解がないと言われる保育だからこそ、自分が子どもと関わる中で行う声かけや働きかけが子どもにとって大きな意味を持ち、後にも影響すると感じ、普段の保育の中での関わりをより大切にしていこうと改めて気持ちが引き締められました。

◆ 中堅保育者

※ 一部抜粋

- 職場の人間関係を良くする事が中堅保育士の仕事、と言う所です。誰かに支えられそして誰かを支える同僚関係のある組織が必要。
- 保育での話し合いをするときには、対等な立場ですることが大切であるということです。正直、私はどうしてもアドバイスのようなことばかりを伝えてしまうので、ざっくばらんに保育のことについて話し合い、質を高めていけたらと思います。
- 子どもたちの自己肯定感を育てようとしている保育士がまず率先して職員の良いところを集団で認めあって行かなければならないというところが、ああ本当にそうだなと思いました。
- もっと同僚の良いところを言葉にして褒めたり認めたい、認められたいと思いました。今まで歩んできた道のりが今の保育感であるなと改めて思いました。
- 保育観のズレを感じていて、先輩と後輩という立場からなかなかすり合わせができずにいた。保育者にはもともと持っている『保育者像』や『人間観』があると学び、誰が・どれが正しいという事ではなく、素直にこれから時間を取って聞いてみたいと思う。『カンファレンス』は飲み会と会議の中間というワードに、構え過ぎずにみんなが意見を言い合える雰囲気での話し合いができるといいなと思った。保育の欠点や足りない所に目が行きがちで、良かれと思ってアドバイス（助言）をしても相手の受け取り方で相手に対してストレスを与えてしまうと知った。相手の良い所をしっかりと言葉にして伝え合う事もとても大切だと感じた。

1-7.保育者のためのスキルアップセミナーの開催

- 一人一人を大切にする＝個別対応ではないということ。一人一人を見てあげてと言われ、わかっているし、やりたい気持ちもあるけど30人見ている中でその難しさを感じていたのので気持ちを軽くして接していきたいと思った。
- 仕事と家庭の両立のためにも誰しもが働きやすい環境づくりの大切さを感じました。
- 保育の現場にいながらも、子育てに不安があったり、家庭と仕事との両立に不安があったが自分だけじゃないと心強く思えた。
- 子育てをしながら働きやすいようないろいろな方法(時短、正規復帰できるなど)が普及していくとよい。保護者に、子育てしながら働くことは大丈夫だよという立場である保育者が不安を抱えていることが悲しい。
- これからは声を上げて制度を変えていく
- 「働く家庭を応援する人達なのに、自分の家庭に時間がとれない」という言葉に救われました。この仕事は好きだし、応援もしたいけど自分の家庭も大事にしたいので働き方改革があればありがたいと思っていました。カンファレンスも職場内で取り入れていきたい。良いところを褒める。我が子にも。参考になりました。
- 保育者の不安の気持ちが何か、とははっきりしないけど日々不安は積もっていく
- 先生の相談体験など交えて聞くことが出来て、とても聞きやすかったです。自園でも、保育カンファレンスを取り入れ、風通しのよい職場作りをしていけたらと思います。

◆ 管理職

- 毎日が忙しく効率化を考えてしまうがケアの部分を大切に考えていきたいと思った
- みんながんばっているんだよ！ 確かにそうですね。たくさん褒めていくよう更に気にしていこうと思います。
- 相手に寄り添うことが大事といつも思っています。これからもそうしていきたいと思います。やりがいでもあり、負担でもあるという言葉が心に残りました。
- 園や法人を超えた連携、市の支援の模索一人材育成から人材確保
- 職場が楽しく、有休も取りやすい環境で、仕事と家庭の両立も取れば、保育士も離職しないし、それによって保育士不足もなくなると聞き、本当にそう思いました。
- ケアの本質ということで、相手を思う気持ちが保育の中では非常に大切に、また、その気持ちをなくさないように、これからも子どもたちや職員の皆さんとも関わっていこうと思いました。
- 時間は平等の言葉
- ハラスメントは受け止める側によって変わると言う事と、時間は皆んな平等だと言う事

1-8.保育者のためのスキルアップセミナーの開催

8. ほかの参加者の発言や意見交換においては、どんな気づきがありましたか？

◆ 若手保育者

※ 一部抜粋

- 同じ若手保育士同士、悩みや困り感を話し合え、とても励みになった。
- 普段同じような環境で同じ子どもを見ているとつい似たような悩みや解決方法ばかり浮かび悩み続けてしまうこともあるのですが、別の環境に身を置く保育者の方から別の視点でお話を聞いたことで視野も広がり、より今後へ生かしていけると思いました。
- 悩みを声に出して話す大切さを改めて感じた。
- 意見交換の場を通してこれからも保育士として頑張っていきたいなと思いました。
- 子どものことが好きなんだなと感じた。
- 保育歴は違いますが、若手の先生方と同じ議題についてお話や意見交換ができて、これからの保育に生かしていきたいと思うような話のできたので、とてもいい機会になりました。
- 自園にはベテランの人が多く、その人達の意見を正解としてそのまま受け入れがちだが自分でもよく考えたいと思った。
- 自園の職員がいなかったため私もなかなか同じ職場の先生には言いづらい悩みを打ち明けてみましたが、同じグループワークの先生も「分かる！」と反応してくれて他の人も同じように言えないけど悩んでいたんだなと少し気持ちが軽くなりました。
- ワークの中で、大変なこと困ったことも経験だと感じられると、そこまで苦しくならないかも、という意見がありました。自分がやったからこそ分かることもあると思うし、その後同じことがあったり、今後自分の後輩となる保育者が入ってきたたりした時に、自分の経験を活かして話ができるようになるといいなと思いました。
- それぞれの園ごと、上司への相談や普段の保育への意識改革を行うなど、悩みを様々な方法で解決した話があり、今後自分が同じように悩んだ時に参考にさせていただこうと思いました。

※ 一部抜粋

◆ 中堅保育者

- 若手の先生たちの良いところをたくさん知れて良かった。
- 若手に対して同じように考えている所や、同じような経験をされてきた先生達にお話を聞いて頂けて、もっと話してみたい気持ちです。
- 親しいようで自分とは違う考えの場合があるということを感じた
- 小規模同士の交流ができてよかったです。
- 自園は恵まれているなと感じたり、他園を知ることができて良い機会を頂きました。

1-8.保育者のためのスキルアップセミナーの開催

- 同じように思っている先生たちであった。他の2人の方も小規模保育園の方で、大きな園よりも負担が少なく、働きやすい、ストレスも溜まりづらく、いい先生が多い(他の園での経験あり)子育てしながらの仕事両立で抱える気持ちは同じで、共感してもらえて嬉しかった
- 毎日一緒に働いていても、新人保育士についてなど話し合う時間は全くなかったし、なかなかとれないので久しぶりにゆっくり話せた。
- いつも一緒に働く同僚について改めて考えるきっかけとなりました。
- 育児と仕事の両立の大変さを感じた。少しでも改善していけるように職場の中でも考えていきたいと思った。
- やはり、人手不足による働きづらさ、保育と子育ての両立の大変さを改めて感じました。非正規での時短勤務ではなく、黒澤先生も仰っていましたが、正規での時短勤務(4時間程度)が実現するにはまだまだ遠い道のりであると思いました。
- なかなか他の園との交流や話し合いの場がないので、とても良い経験になった。保育に関する悩みだったり、職場環境に対しての悩みが似たような事が多かったので共感し合えた事がよかった。仕事と家庭の両立の話で、他園の休みや休憩時間の取り方、シフトについてなど話す中で、1番は職場体制の改善が大切にはなるが、職場内の人間関係が良く、理解ある方達の中でなら仕事と家庭との両立に対しての不安が少し解消されるなと感じた。

※ 一部抜粋

◆ 管理職

- 不適切保育やハラスメントをどうやって見つけるかの問いに、見つける事より褒めるようにしていこうと言ってくれて、なるほどと思いました。
- 何処の園も同じ悩みを抱えている事。人権擁護のチェックリストを行なって、職員の意識に変化が出できた事を全参加者が言っておられたので、色々な意味で、良いきっかけとなったのではと思いました。
- 子供との正しいかかわりかたのチェックリストで、どの園も同じ事を感じていると言う事
- 保育士不足、不適切保育の問題など、どの園でも悩みは同じで、でもそこを補うために管理職の方も、いろいろ考え実践していることがわかり、思いの共有もできました。
- 保育者が多く確保できると保育にも余裕が出て、働きやすい環境が整うことを改めて感じました。
- 不適切保育では、どこからかの線引きも難しく、保育士によって感じ方も違うので、難しいと話をしました。保育所保育指針を園全体で研修し、子ども主体の保育に転換できて良かったと話しました。

※ 一部抜粋

1-9.保育者のためのスキルアップセミナーの開催

9. セミナー全般のご意見・ご感想、今後のセミナー企画のご要望をお聞かせください。

◆ ご意見・ご感想

- 講師の方の話は実体験から話してくれたことで興味を持ちながら聞く事ができあつというままでした。グループワーク楽しかったです。
- お話の中で、すごく身近に感じる内容だったり、今後気をつけていこうと思うことが沢山ありました。受講できてよかったです。
- まだ慣れない環境の中で不安も大きいですが、自分が安心して保育に向き合うために大変参考になるお話ばかりで安心できました。
- 子どものため、そして自分が気持ちよく保育に当たるため、これからも努めていきたいと思いました。
- 楽しい時間でした。ありがとうございます。またお話ききたいです。
- やはり、子どもたちとの生活は日々楽しいですし、子どもたちの成長を見とれた時には幸せな気持ちになれる保育の仕事は、とても素敵なものと思っています。こうした思いを若い保育教諭の方に伝えていけるよう、自分も日々頑張っていきたいと改めて思いました。
- 中堅保育者は新人の育成であったり、先輩達との板挟みの状況であったりと人間関係で悩む事が多いなと感じ、他園の方の話を聞いて共感したり、自分の話を聞いてもらえる機会があって良かった。
- 講義の中でほかの園の職員との意見交換の場があってとてもよかった。
- よくある課題に対して、色んな園でどのように対処しているか皆の話をもっと聞いてみたくなった。
- ズームではなく、実際に先生方と集まって、お話をしたり、直接講師の先生方のお話を聞いてみたいと感じました。次回機会があれば、よろしく願いいたします。
- 今後もこのようなセミナーで意見を交わせる場があるといいなと思いました
- 凄く自分事に思える内容で参加してよかったです。
- 自分自身のストレスコントロールについて、他の保育士と話せる新鮮な場であり、話せたことが嬉しかった。
- 昨日の中堅対象のセミナーに出た職員が、今の自分の状況にぴったりでとても良かった。もっと黒澤先生と話したかったと言っていました。ありがとうございました。
- 今抱えている問題について、黒澤先生のお話を聴いたり、グループの皆さんの話を聴くことができ、自分の考えや思いとも改めて向き合うことができました。

※ 一部抜粋

1-10.保育者のためのスキルアップセミナーの開催

◆ ご要望

- 今回、話題になっていた不適切保育、ハラスメント、長く働き続けるために管理職ができることなど、実例をもとにした講師の先生のお話や、他の園の先生と話ができて良かったです。ただ、こども園、認可保育園、小規模保育園と内情が違うので、ワークのグループは園の規模で分けた方が、より深く共感しあえるのかなとも思いました。（勉強になりましたが）
- 意見交換の場も大切なのはわかりますが、画面越しだと意見もなかなか言いにくいので、全員参加のワークは大変かな？と思いました。
- zoomでの研修でしたが、少しずつ皆さんとお会いしてできる研修ができれば、意見交換などもっとできて良いな、と思いました。
- 保育士として働くお父さんお母さんに対しての前向きになれるようなセミナーをしてほしい。
- 新任の先生とのコミュニケーションの取り方、接し方といった基本的なことを教えていただきたいです。
- 色々あるだろうが今度はみなさんの子育てと仕事の両立の仕方、方法を知りたい
- 休暇の面や、給料面は本当にお願いしたいところなので、セミナー等の意見が市や県や国に届いて対策がとられることを願っています。
- 保育士として働きやすい環境を作っていただきたいと強く思います。
- 人材の確保は自分たちだけで解決できるものではないので、国の政策の改善を、一日も早くしてほしいと感じました。

※ 一部抜粋

2-1.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

1.ほいくカフェ

1) ほいくカフェの企画・運営

保育の仕事に興味のある人を対象に、保育職場の紹介や保育活動の魅力を伝えるイベントを、主催の藤枝市保育協会に加盟する16園の保育士とともに企画・運営した。ほいくカフェの開催は2019年に続き2回目。場としては、堅苦しい採用イベントではなく、藤枝の各園の紹介コーナーやワークショップ体験、相談ブースなどを設け、藤枝にある園のことを知り、その魅力や楽しさを実感することで就労の場としての認知を高めるようにした。

開催日	2022年9月10日（土）10:00～14:00（開場 9:00～）
開催場所	BiViキャン
主催	藤枝市保育協会
協力	藤枝市
対象	学生、潜在有資格者、子育て支援員等、保育の仕事に興味がある方など
定員	70人（先着順）
参加費	無料
テーマ	ようこそ！たのしい保育の世界へ ほいくカフェ2022
内容	①保育の写真展 ②似顔絵コーナー「う・ふふ」市川氏 ③おもちゃ製作コーナー ④手作りおもちゃ展示 ⑤バルーンアート ⑥おやつ試食コーナー ⑦絵本お土産（協力：チャイルド社・学研・ひかりの国） ⑧10:00～ 絵本作家・宮西達也さんによる講演・サイン会
スケジュール	8:45～ スタッフ集合・会場づくり 10:00～ 開会・会長挨拶 各コーナー開始 10:30～11:30 講演会 12:00～ 講師等昼食 14:00 閉会・会長挨拶 14:30 解散

2-2.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

2) 集客

項目	実施内容	件数
チラシ配布	県内大学・専門学校への案内	適宜
チラシ個別案内	各園を通じた配布	適宜
Webサイト	「enjobふじえだ」のお知らせ掲載	1回
メール	「enjobふじえだ」登録者への連絡	(児童課様経由)

ようこそ たのしい保育の世界へ
HOIKU CAFE
ほいくカフェ 2022

参加無料・お土産あり

9/10 sat 10:00 ▶ 14:00 BiVi藤枝1F 藤枝駅南口より徒歩2分

MENU

- 10:30～11:30
絵本作家 宮西達也さん講演・サイン会
「ニャーゴのやさしさ ティラノの思いやり」
- おもちゃづくり体験
バルーンアート センサリーボトル
- 似顔絵を描いてもらおう
- 保育の写真展 / 藤枝市内の保育園紹介 / 保育なんでも相談室 などなど

※保育のおしごとに興味がある方を対象としたイベントです。
※園長先生のご都合により、内容を変更することがあります。
※詳細は右のQRコードよりご確認ください。

主催: 藤枝市保育協会 ほいくカフェ2022実行委員会 協力: 藤枝市
問合せ: たちばな保育園 (TEL: 054-644-2522)

えんじょぶ enjobふじえだ

求人情報掲載依頼 お問い合わせ 「enjobふじえだ」ご登録

「enjobふじえだ」とは? 藤枝市内の園の求人情報 よくあるご質問 セミナーレポート

【参加者募集】ほいくカフェ2022 (9/10開催)

藤枝市保育協会に加盟する保育園が企画を出し合い、「ほいくカフェ2022」を開催することになりました。
このイベントは、2022年9月10日(土) 10:00～14:00、BiVi iキャン(藤枝駅南口より徒歩2分)で開催されるもので、保育の仕事に興味のある人々を対象に、保育職場の紹介や保育活動の魅力を伝えることを目的としています。

静岡県出身の絵本作家、宮西達也さんをお招きし、講演・サイン会も開催するほか、バルーンアートやセンサリーボトルなどのおもちゃづくり体験や、似顔絵を描いてもらえるコーナー、保育の写真展や保育のお仕事に関して現役保育者と個別にお話できるコーナーも設けられます。

養成校に通う学生さんはもちろん、保育職場に復職されたい皆さん、子育て支援員さん、将来の進路に悩み中の高校生の皆さんなども歓迎です。
藤枝市内の保育園で働いてみたい! という方は、気軽に会場にお越しください。

2-3.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

3) 当日の様子

会場には園を紹介する動画上映や写真展示、バルーンアートやセンサーボトルのおもちゃづくり体験、保育なんでも相談室、てづくりおやつコーナーなどを設け、藤枝市保育協会に加盟する16園の保育士がお揃いの藤色のポロシャツ姿で対応した。現役保育士と交流しながら保育活動を知ることができるため、各所で会話が弾んでいた。



また、静岡県出身の絵本作家、宮西達也さんを招き、講演・サイン会も開催。子ども時代の経験と思い出を作品にするという宮西さんは、絵本をスクリーンに投影し、読み聞かせ形式で講演を展開した。宮西さんは「たった一言が、その子の将来に影響を与えるかもしれない。やさしさと思いやりあふれる豊かな人間になろう。そして、大人が一生懸命生きる姿を子どもたちに見せよう」と保育の大切さを語った。



2-3.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

2.ふじえだ保育のおしごと交流会

1) ふじえだ保育のおしごと交流会の企画・運営

子ども・保護者・職員みんなにとって、より安全・安心な保育活動を実践するために大切なことは何か？ 藤枝市内の園関係者や保育職場に興味がある皆さんとともに、保育現場の事故リスク回避や対応策について明るく前向きに考える交流会として開催した。前半は、リスクマネジメント講座を視聴し、後半は静岡福祉大学の永田先生の進行のもと、参加者同士で動画の感想や日常で気を付けたいこと、保育のお仕事に対する悩みや不安を共有。事故を未然に防ぎ、安心して保育を行うための視点を学び、保育者としての仕事をする意欲や安心感を高めた。

開催日	2023年3月10日（金）13:30～16:30（受付 13:15～）
開催場所	オンライン（Zoomミーティング） ※ホスト会場は、サンロフト ※参加者は各園や自宅などなどから参加
主催	藤枝市健康福祉部子ども未来応援局児童課
対象	・藤枝市内の保育園・幼稚園・認定こども園・小規模保育所等 ・学生、有資格者、子育て支援員等、保育の仕事に興味がある方（保育関連資格がなくても参加可）
参加費	無料
テーマ	ふじえだ保育のおしごと交流会 ～保育のお仕事のやりがいと安全・安心を考えよう！～
コーディネーター	永田恵実子 先生 静岡福祉大学 子ども学部子ども学科 教授 保育・教育実習センター長
プログラム	13:30～13:40（10分）主催者挨拶・趣旨説明 13:40～14:20（40分） ミニ講座「就学前施設のリスクマネジメント ～上手な事故防止活動の進め方のコツ～」 講師：堀江 健 氏 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 マーケット開発部 市場開発室 室長 リスクマネジメント企画担当 14:20～15:00（40分）グループワーク 15:00～15:20（20分）全体シェア 15:20～15:30（10分）振り返り・まとめ

2-4.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

2) 集客

項目	実施内容	件数
チラシ配布	県内大学・専門学校への案内郵送	14校×5部ずつ
個別案内	お付き合いのある養成校関係者にチラシの個別配布・メール・電話フォロー	適宜
Webサイト	「enjobふじえだ」のお知らせ掲載	1回
Webサイト	藤枝地元就職応援サイト「C'mon Wakamon」のお知らせ掲載	1回
メール	「enjobふじえだ」登録者への連絡	(児童課様経由)
郵送	子育て支援員研修受講者への案内	1回

藤枝市 保育士等の働きやすい職場づくり事業

高保育料の負担がなくても参加可能です

学生、有資格者、子育て支援員等、保育の仕事に興味がある人へ

ふじえだ保育のおしごと交流会

～保育のお仕事のやりがいと安全・安心を考えよう～

藤枝市では、市内の保育園・幼稚園・認定こども園・小規模保育所などが一丸となり、情報交換したり学び合ったりしながら、働きやすい保育職場づくりに取り組んでいます。今回は、子ども・保護者・職員みんなにとって、より安全・安心な保育活動を実施するために大切なことは何かを明るく前向きに考えましょう。

3/10

2023. 3/10(金)

13:30～15:30

費用 **無料** 形式 **オンライン (Zoom)**
名前を出す、質問のみ参加可能です

内容

- ・ミニ講座「就学前施設のリスクマネジメント ～上手な事故防止活動のすすめのコツ～」
- 講師: 堀江 健 氏
志いおいニッセイ同和損害保険株式会社
 マーケット開発部 市場開発室 室長 リスクマネジメント企画担当
- ・現職の先生たちの想いや保育職場の権子
- ・永田先生からのアドバイス
- ・これから保育職場で働きたい人たちの悩みや不安QA

午後30分で個別就職相談を受付 (希望者のみ・要予約)

コーディネーター 永田 恵実子 先生 静岡福祉大学子ども学部子ども学科 教授 保育・教育実習センター長

お申し込み方法 FAX: 054-626-3371 または QR

以下をFAXで送付いただくか、右記のQRコードでお申し込みフォームをダウンロードください。
 ※パソコンからは、enjobふじえだの「おしらせ」よりお申し込みフォームをご利用ください。
 ※お申込者には、前日までに、メールにてZoomの参加URLを返信いたします。

ふりがな	学校名 / 園名
お名前	電話
メール	年代 記入例: 20代 代
区分	就職相談 <input type="checkbox"/> 希望する
<input type="checkbox"/> 関係者 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> enjob登録者 <input type="checkbox"/> 子育て支援員 (受審中の方含む) <input type="checkbox"/> その他 ()	
参加方法	<input type="checkbox"/> 勤務先の園 <input type="checkbox"/> 自宅や学校など <input type="checkbox"/> 会場にて参加希望 (希望者があれば藤枝駅周辺に会場を設ける予定です。詳細は申込者にご連絡します)

事業委託先 株式会社サンソフト (主・青木) 電話受付時間 TEL: 054-626-3366 / FAX: 054-626-3371 (平日9:00～18:00)
<https://www.enjobfujieda.jp/> (enjobふじえだ)

個人情報保護法に基づいてご記入いただいた個人情報は、本セミナーの申し込みに関するご連絡等に、本セミナーの企画運営に限りご活用させていただきます。個人情報を取り扱うについては、本館の「個人情報保護方針」(https://www.enjobfujieda.jp/privacy) をご確認ください。

主催：藤枝市健康福祉部子ども未来応援局児童課

えんじょぶ enjobふじえだ

[求人情報掲載依頼](#)
[お問い合わせ](#)
[「enjobふじえだ」に登録](#)

「enjobふじえだ」とは？

藤枝市内の園の求人情報

よくあるご質問

セミナーレポート

ふじえだ保育のおしごと交流会～保育のお仕事のやりがいと安全・安心を考えよう～

藤枝市では、市内の保育園・幼稚園・認定こども園・小規模保育所などが一丸となり、情報交換をしたり、学び合ったりしながら、働きやすい保育職場づくりに取り組んでいます。今回は、子ども・保護者・職員みんなにとって、より安全・安心な保育活動を実施するために大切なことは何かを明るく前向きに考えましょう。

2-5.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

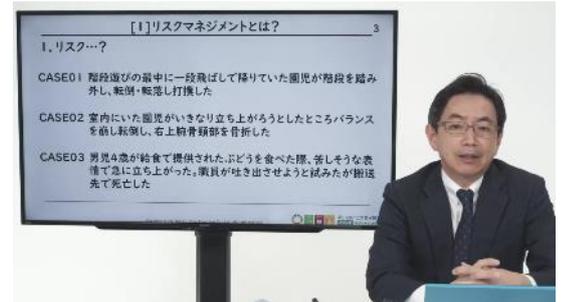
3) 当日の様子

主催者挨拶から始まり、あいおいニッセイ同和損害保険(株)の堀江氏による講座の視聴後、永田先生のナビゲートのもと小グループに分かれ、参加者同士で意見交換が行われた。交流会全体の進行は、(株)サンロフトの鈴木が担当した。さくらママの加藤園長もゲスト参加した。



◆ ミニ講座

堀江氏は「子どもが育つ場所である園は、成長・生活することに伴う避けられないリスクがある」とした上で、その中でも防ぐべき事故を優先して対策を講じるべきと提言。具体的なケースを挙げながら、事故を招く原因を除去する活動や、ミスを発見するしくみづくりの重要性を強調した。



◆ 交流会

ミニ講座での事例について、リスクを回避するために必要な配慮や、事故発生時の組織としての対応などについて、参加者同士で意見交換をしたのち、全体で気づきの共有を行った。

CASE03 男児4歳が給食で提供されたぶどうを食べた際、苦しそうな表情で急に立ち上がった。職員が吐き出させようと試みたが、搬送先で死亡した

①リスクを回避するための環境(人・物)の配慮
②事故が起こったときの保育施設の組織としての対応と仕組み



4) 参加お申し込み・開催成果

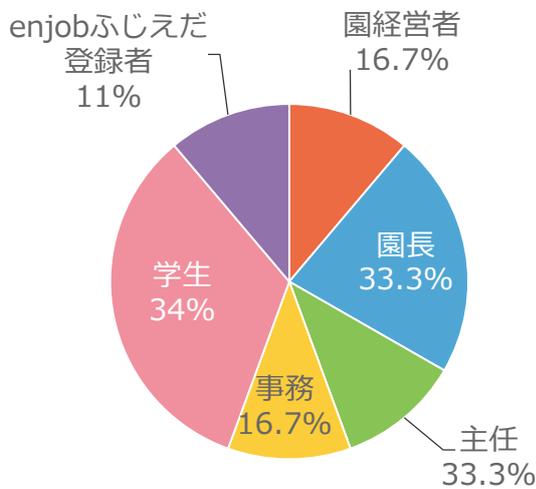
9名が申し込み、当日参加も合わせて12名が参加した。

申込数	9名(園関係者4園6名、学生2名、enjob登録者1名)
当日参加者数	10名 園関係者4園6名 学生3名(当日参加:1名) enjob登録者1名
アンケート回収	Googleフォームにて実施 9名/10名(回収率 90%)

2-6.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

5) アンケート集計結果

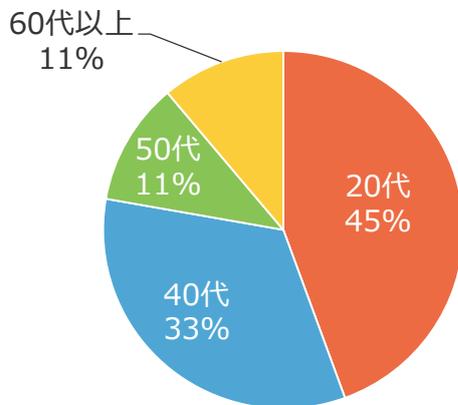
1-1.あてはまる属性をお選びください。(属性)



(n=9)

項目	人数 (人)	割合 (%)
園経営者	1	11.1%
園長	2	22.2%
主任	1	11.1%
中堅保育者	0	0%
若手保育者	1	11.1%
事務	0	0%
学生	3	33.3%
enjobふじえだ登録者	1	11.1%
子育て支援員 (見込含む)	0	0%
合計	9	100.0%

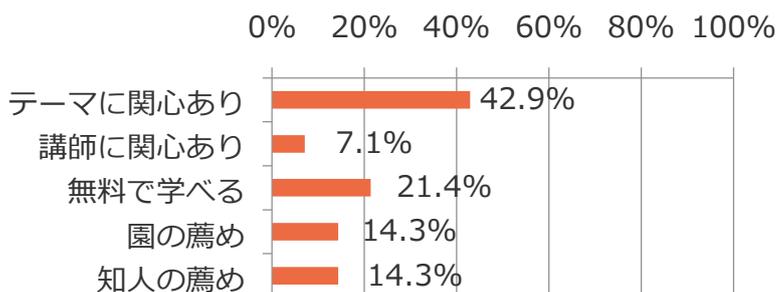
1-2.あてはまる属性をお選びください。(年代)



(n=9)

項目	人数 (人)	割合 (%)
10代	0	0%
20代	4	44.4%
30代	0	0%
40代	3	33.3%
50代	1	11.1%
60代以上	1	11.1%
合計	9	100.0%

2.本交流会の参加動機として該当するものはどれですか？(複数回答可)



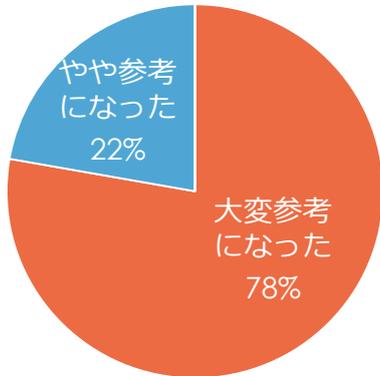
項目	実数 (人)	構成比 (%)
テーマに関心あり	4	44.4%
講師に関心あり	2	22.2%
無料で学べる	1	11.1%
園の薦め	2	22.2%
知人の薦め	0	0%

2-7.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

3.本交流会はいかがでしたか？

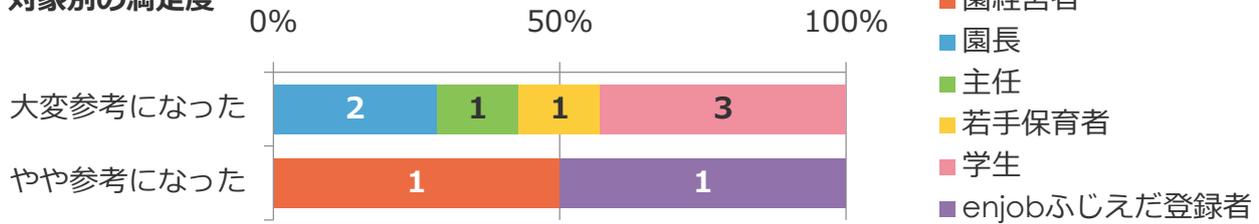
77.8%が「大変参考になった」、22.2%が「やや参考になった」と回答し、回答者全員がセミナーを有意義と感じた。

(n=9)



項目	人数 (人)	割合 (%)
大変参考になった	7	77.8%
やや参考になった	2	22.2%
あまり参考にならなかった	0	0%
参考にならなかった	0	0%
合計	9	100.0%

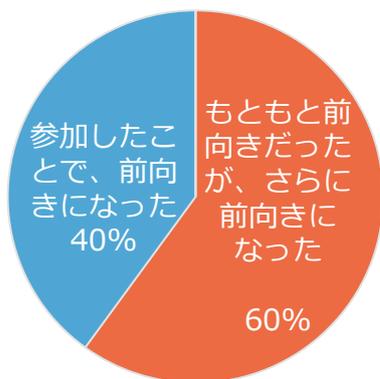
◆ 対象別の満足度



4. 交流会への参加を通して、職場の環境改善や働き方の改革に前向きになりましたか？

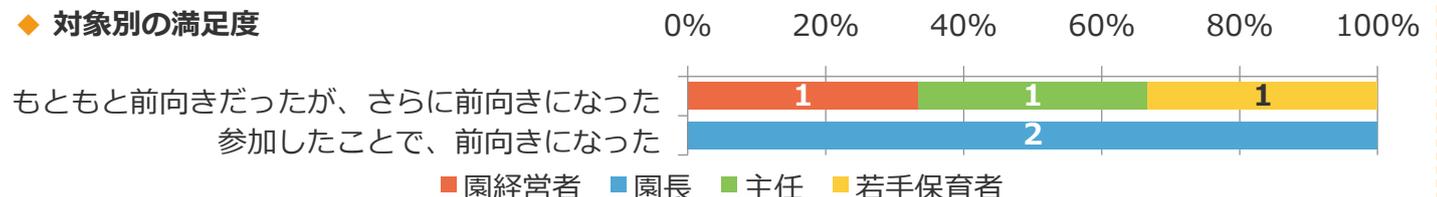
「もともと前向きだったが、さらに前向きになった」「参加したことで、前向きになった」と園関係者全員が回答した。また、「参加したことで、前向きになった」と回答した2名はどちらも園長で、マネジメントに携わる参加者の事故防止・安全な環境づくりへの意欲を後押しした。

※園関係者のみ回答 (n=5)



項目	人数 (人)	割合 (%)
もともと前向きだったが、さらに前向きになった	3	40%
参加したことで、前向きになった	2	60%
まだあまり前向きになれていない	0	0%
合計	5	100.0%

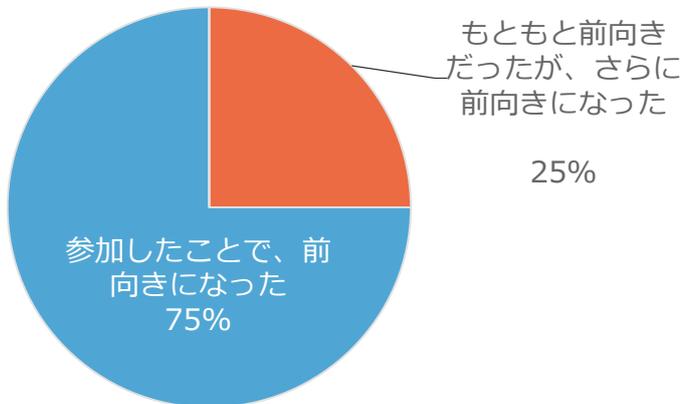
◆ 対象別の満足度



2-8.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

5.交流会への参加を通して、保育職場での就業に前向きになりましたか？

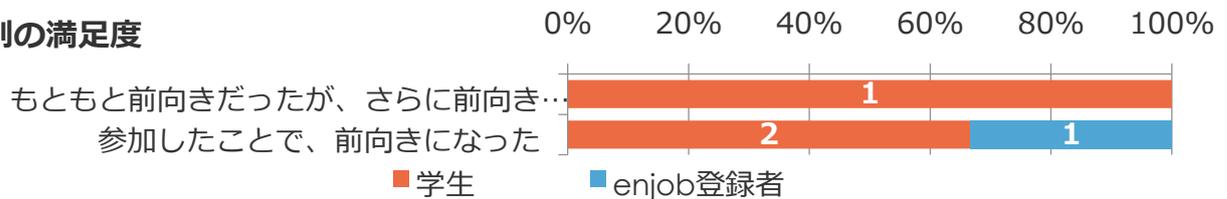
「もともと前向きだったが、さらに前向きになった」が25%、「参加したことで、前向きになった」が75%と、全員が保育職場での就業に「前向きになった」と回答した。



※学生や一般参加者のみ回答 (n=4)

項目	人数(人)	割合(%)
もともと前向きだったが、さらに前向きになった	1	25.0%
参加したことで、前向きになった	3	75.0%
まだあまり前向きになれていない	0	0%
合計	4	100.0%

◆ 対象別の満足度



6. 交流を通じて、気づいたこと、心に残ったことは何ですか？

◆ 園関係者

- 各園の考え方や情報（園経営者）
- 現在の園の見直しに良い時間となりました。ありがとうございました。（園長）
- 今回の講義を通して、改めて園で起こりうる事故に対しできる対策を考えていかなければいけないと思った。事故が起きた際の対応について、「速やかに」というのが他の園とも共通していることが交流の中で伺えて良かった。考えられる事故について、市外の園と考えたり、保育学生の率直な言葉を聞いて良かった。（若手保育者）

◆ 学生・一般参加者

- 今後、保育士になる上でリスクマネジメントをすることで、たくさんの知識が必要になってくると分かりました。（学生）
- 子どもが安心・安全に生活ができるよう支援していくことが大切だということ。子どもの安心・安全を守るために大切なことについて学ぶことができたので、今回学んだことを今後に活かしていきたいと思った（学生）
- 貴重な学びの場であるのに、参加者が少ないことに驚きました。（enjob登録者）

2-9.潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催

7. 交流会全般のご意見・ご感想、今後の事業企画のご要望をお聞かせください。

◆ 園関係者

- 学生さんの意見をうかがえる機会が今後もあれば嬉しいです。
- トラブルがあり遅刻してしまい申し訳ございませんでした。次回はもっと交流を深めたいです。また交流会をお願いします

◆ 学生・一般参加者

- せっかくzoomでつながっているのに、録画済みの講義はもったいないと思いました。リアルタイムに質問ややりとりができるオンラインの講義を期待します。ありがとうございました。
- 現場に出ていらっしゃる先生方と話し合いができて、とても参考になりました。ありがとうございました。

3-1.事業総括と次年度に向けた計画（案）

事業の最終年度を迎えた。黒澤先生とこれまでの事業を振り返りながら今年度の事業に取り組んだ。ご理解・ご協力をくださった関係者の皆さまに、心より感謝申し上げたい。以下に事業の総括をまとめた。

保育者のためのスキルアップセミナーの開催について

● 黒澤先生がサンソフトに来静して講師を務めてくださり、参加者とはオンラインで交流された。コロナが落ち着きつつある中で、会場での対面形式の研修を望む声も一部あったが、忙しい先生方のためにオンラインでの参加も選択肢として用意することは今後も大切だと感じた。内容については、保育者の学び方やストレスコントロール、同僚との関わり、ハラスメント防止など、対象者ごとに身近な内容が好評で、次年度も同じテーマでの意見交換を希望するという声があった。また、グループ分けは園の規模ごとにした方が、境遇が近い参加者と意見交換できそうだという意見があった。保育者の横のつながりを深める機会は今後さらに必要性が高まると感じた。

● 潜在保育士・学生を対象とした就職相談会の開催について

藤枝市保育協会が主催する、保育の仕事の素晴らしさや職場の魅力を保育者目線で伝える「ほいくカフェ」の運営支援を行うことにした。実行委員会は7月上旬に発足し、メンバーは保育活動の合間に時間を創出し、Zoomでのオンラインミーティングを重ね、Googleドライブで議事録の共有や素材の回収をするなど、ICTも積極的に活用して効率化を試みながら準備をした。

また、昨年に引き続き「保育のおしごと交流会」を開催した。テーマは「保育のお仕事のやりがいと安全・安心を考えよう」。事故のない安全な環境で子どもを育てることは、保育士の誰もが願うことであるが、成長の途上にある子どもたちを預かる中ではリスクをゼロにすることは難しい。交流会では、防ぐべき事故に焦点を当ててディスカッションをしたが、保育者一人の責任ではなく、組織で対策をすることの重要性を参加者と確認できた。園関係者以外は、学生3名・enjob登録者1名と少数であったが、保育職場に携わる、またはこれから就業する様々な立場の人と意見を交えたことに意義を感じてもらえた。ただ、全体の人数も少なかったため、開催時期は見直す余地があると感じた。

● 次年度の展開案として

今年度はコロナが収束しない中、様々な保育現場での事件・事故がニュースとなり、これまで以上に保育職場を見直す重要性が高まった。そんな中、展開した本事業では、保育業務を離れ、市内の各園の保育者や園経営者、学生やenjob登録者などが共に学び、語り合う場を創出できたことが何よりの成果だった。

就活イベントの開催よりも、スキルアップセミナーを公開型にするなどして、学びと交流の輪を広げることが人材確保にもつながるのではないかと感じた。

また、監修者の黒澤先生とは、本事業の6年間を整理し、本にまとめる企画も話題となった。次年度以降に機会があれば、成果を書籍化することができればよい。

3-2.事業総括と次年度に向けた計画（案）

次年度以降は、「働き続けられる保育職場」をテーマに、これまでの事業を基盤に、保育者コミュニティが形成できると相乗効果が期待できそうである。

既存登録者や園を通じて
市内外の潜在有資格者に
呼びかけ登録を増やす

- ・オンラインイベント
- ・SNSでの情報提供
- 等で育児中でもできる交流推進



潜在有資格者



学生

養成校への周知・登録を
あらためて呼びかけ
学生の登録を増やす

- ・地元の養成校へのPR
- ・学生のenjob登録促進
- 等で集団での接点づくり強化

園のリアルな情報の提供

登録

案内

園との接点づくり

リクルートサイトとの
連携で流入を増やす

伝え方のスキルアップ支援

- ・より丁寧な求人情報
(動画、職場づくりなど)



- ・動画などの採用コンテンツ制作
- ・オンライン説明会、面談の実施



enjobふじえだ

** オンライン **
(ネット)

- ・求人情報の確認
- ・オンラインガイダンス参加
- ・イベントへのオンライン参加

+ 園と働きたい人の接点づくり

** オフライン **
(リアル)

- ・リアルイベント
- ・就職相談会
- ・園見学ツアーなど



・スキルアップセミナー

参加
スキルアップの場づくり

参加
人材との出会いの場づくり

保育者オンライン
コミュニティ「nanoty」

オンラインに慣れる場づくり

- ・職場づくりや採用活動についての情報交換
- ・オンライン化やICT活用のスキルアップ
(オンライン学習)



園・保育者

採用のオンライン化を学
び、実践する機会をつ
くり、活かしてもら

子育て支援員研修等
他の事業とも連携